

【R7学校評価 肯定的な回答の割合】

	前期		後期		前期		後期	
	保護者		児童		教職員			
教育方針の周知	91.3%	88.6%	77.7%	74.0%	91.7%	89.7%		
なかよし	90.5%	92.8%	90.5%	89.6%	95.8%	89.7%		
学習理解	78.8%	78.8%	87.0%	85.4%	91.7%	94.9%		
家庭学習	67.2%	61.4%	77.7%	79.4%	75.0%	79.5%		
思いやり	91.3%	91.9%	86.3%	85.4%	91.7%	92.3%		
命の大切さ	89.6%	94.1%	93.8%	91.5%	95.8%	97.4%		
体力向上	78.0%	86.0%	79.9%	84.0%	83.3%	74.4%		
相談体制	84.2%	78.8%	75.6%	73.5%	95.8%	94.9%		
いじめ防止	81.7%	81.4%	87.2%	85.9%	95.8%	97.4%		
特別支援教育	83.4%	86.9%	85.1%	87.1%	95.8%	94.9%		
保護者・地域連携	85.5%	87.7%	67.5%	70.1%	91.7%	84.6%		
環境整備	73.4%	80.5%	82.0%	81.1%	95.8%	79.5%		
安全指導	83.4%	82.2%	93.1%	90.0%	95.8%	97.4%		

○保護者アンケートについて

・昨年度、今年度と肯定的な回答の数値に大きな変化はなく、全て5%前後の推移となっている。

・家庭学習を除いた項目で肯定的な回答が概ね80%を超えている。

・「なかよし」の肯定的な回答は約90%となっている。また、「思いやり」「命の大切さ」も90%を超えている。職員も日頃重点的に指導をしている項目である。

・「保護者・地域連携」が令和4年度の58%から約85%と大きく向上した数字を維持している。地域と連携した教育活動に取り組めた成果と考える。

・「家庭学習」の肯定的な回答約65%は妥当な結果と考える。

・「環境整備」については、地域コーディネーターを中心に環境整備に取り組んでいただいた成果と考える。今後も「教職員」「保護者協力」「業者依頼」に分けて安全対策を優先して取り組みたい。

○児童アンケートについて

・「なかよし」「命の大切さ」の肯定的な回答が保護者同様に高くなっているのは教職員としてはうれしい結果である。

・「学習理解」の肯定的な回答が85%を超えている。自己評価ではあるが学校の楽しさにつながるので良い傾向である。

・「安全指導」の肯定的な回答が90%を超えている。連日担任から児童へ声掛けをしている内容が届いていると考えられる。

・教育方針（大日っ子のめあて）については全校集会などで校長の話に織り込んだ。引き続きの同様な働き掛けが必要である。

・「保護者・地域連携」が他より低い。今後さらに保護者も交えた学校行事も計画していきたい。

○教職員アンケートについて

・概ね高い評価となっている。各自が教育活動をしっかり行っている認識は良い傾向だと考える。

・「体力向上」については年間を通して体育主任を中心に体力向上への取組を継続する必要があると考える。

・「保護者・地域連携」について、地域学習の充実やPTA親子活動の再開がこの数値に現れていると考える。

○3者比較

・3者の回答を比較すると数値の差はあってもそれぞれ同傾向であることがわかる。学校で特に意識して指導、活動している内容は児童や保護者にも届いていると考え今後も教育活動に取り組んでいきたい。